

トショカンの舞台裏

“Book Hunting の本が図書館に並ぶまで”の巻

弘前大学附属図書館では、学生が自ら書店に出向き、図書館に置いてほしい本を選ぶ「Book Hunting」を毎年実施しています。

令和2年度は、2020年12月12・13日にジュンク堂中三弘前店で開催しました。参加者は8名で123冊が選書されました。

図書が書棚に配架されるまでには選書・納品・受入・登録・装備・配架といった多くの工程を経ています。

今回は、その舞台裏をご紹介します。



.....1.選書.....

毎年、図書の選定委員会で選定方針が決定されます。令和2年度においては、教育・学習支援図書（学部からの選定）、新刊図書（書評欄掲載図書）、図書館利用者希望図書、そして「Book Hunting」といった選書を実施しました。

.....2.納品・受入.....



「Book Hunting」で選定・納品された図書は、ブックトラックといわれるキャスター付きのカートにのせ、1冊ずつ、納品された情報を入力していきます。

.....3.登録・装備.....

次に、図書を検索できるようにするため図書の登録作業を行います。国内の大学では、国立情報学研究所のデータベースを利用して図書の情報を簡便な方法で入力できるようになっています。この登録作業を実施することにより、弘大 OPAC や CiNii Books（全国の大学図書館等の所蔵が検索できるシステム）など多方面から蔵書を検索できる

ようになります。また、図書をどの分野に並べるか（どの分類にするか）は図書の内容を参考にし、この時点で決定しています。

図書には、バーコードラベル・請求記号ラベルを貼付します。一部の図書については、カバー上からラミネートフィルムを貼っています。



.....4.配架.....

登録・装備された図書は、指定された配架場所に配架されます。今回紹介しています「Book Hunting」については、1か所にまとめて配架しています。



このように、「Book Hunting」で購入した本が図書館に並ぶまでには様々な工程があります。2020年「Book Hunting」購入図書一覧は下記 URL からどうぞ。
http://www.ul.hirosaki-u.ac.jp/guidetop/BookHunting/2020_01BookHunting-list.pdf

